

平成26年度第2回北杜市図書館協議会会議録

- (1) 会議名：平成26年度第2回北杜市図書館協議会
- (2) 開催日時：平成26年7月11日（金）午後1時30分～午後3時45分
- (3) 開催場所：北杜市金田一春彦記念図書館 SVホール
- (4) 出席者： 協議委員 柴山 裕子／小澤 一／下條 順子／竹田 和美／
平出 香織／齊木 久壽
事務局 三井図書館長／長谷川 誠・小野 まどか・
植松 広樹（総務担当）／浅川 さつき（明野図書館）
鈴木 真由美（すたま森の図書館）／長屋 恵（たかね図書館）
高野 裕子（金田一春彦記念図書館）／進藤 由美子（小淵沢
図書館）／鈴木 規（ライブラリーはくしゅう）
齊木 紀恵子（むかわ図書館）／河野明美（高根中図書館司書）
- (5) 議題：
 - (1) 平成25年度北杜市図書館事業報告書について
 - (2) 北杜市図書館の開館時間等（案）について
 - (3) 北杜市図書館ボランティア代表者会の報告について
 - (4) 利用者懇談会について
 - (5) 各図書館からの近況報告について
 - (6) その他
- (6) 公開・非公開の別：公開
- (7) 非公開の理由：該当なし
- (8) 傍聴人の数：1人
- (9) 審議内容
 - 1) 平成25年度北杜市図書館事業報告書について
 - *事務局より平成25年度北杜市図書館事業報告書のなかから、決算状況、職員体制、図書館事業（全体事業）、図書館協議会、利用状況について報告。
 - ・総決算額は、159,157,617円。このうち正職員の人件費が27,758,357円、臨時職員の人件費が67,322,003円。図書資料購入費、委託料、使用料などの図書館管理運営事業費が61,859,227円、各館でのイベントに対する謝礼や消耗品などの図書館企画事業費が2,218,030円。
 - ・図書館管理運営事業費のうち、図書資料の購入費が約1,350万円、視聴覚資料の購入費が74万円、図書館システムの入れ替えにかかる費用が約2,011万円、委託料が約666万円となっている。図書館にかかる費用については人件費と管

理にかかるものが大半を占める。

- ・北杜市図書館協議会は昨年4回開催し、ブックスタートアンケート調査についてや、小淵座図書館の閉館時の対応などについて協議をしていただいた。開館時間については昨年度3回にわたって協議をしていただいている。
- ・昨年度の利用状況については、登録者数は約1,000名増加し、30,972人になった。貸出冊数は374,411点で24年度より4万冊減少している。明野、武川については、貸出冊数、利用者数が増加している。全体的に貸出冊数が減少したのは、6月に図書館システムを導入するため、5月後半の2週間全館で休館したり、2月の大雪で臨時休館をしたため、全体として開館日が100日ほど減っていることが理由として挙げられる。
- ・市内物流（やまねっと）の利用状況については、貸出冊数が増えてきており、利用者の中で定着している。

委員：他館と比べると金田一図書館が相互貸借で市外の図書館への貸し出しが多いが、なぜか。

事務局：蔵書数が多いのももちろんだが、金田一先生や平山先生の言語関係の資料や浜田先生から寄贈を受けた哲学の資料などのなかには、県内でも金田一図書館でしか所蔵していない資料も多いため、市外からの貸出依頼が多い。

委員：県内での相互貸借の場合、送料はどのように負担しているのか。

事務局：基本的には、県立図書館が週1回各エリアの中心館をまわって、相互貸借の資料のやり取りをしているので、通常送料はかかっていない。また急ぎ場合は、その図書館に直接郵送する場合があるが、この費用については県内の図書館でつくる山梨公共図書館協会の負担金のなかから出しているため、利用者への負担はない。

2) 北杜市図書館の開館時間等（案）について

*事務局より資料についての説明

- ・前回までの協議では、休館日についてはこれまでと基本的に変更せず金田一図書館については定休日を設けないということでした承していただいていると認識している。
- ・前回は全館で夏時間を設ける提案をしたが、前回勤務体制が厳しくなるなどの意見もあったため、再度図書館内で話し合いを行い、夏の利用の多い金田一図書館とながさか図書館については夏時間を設け、その他の6館については、夏時間を設けず年間を通して10時～18時までの開館時間としたい。

- ・全館で夏時間を設けることをなくす代わりに、全館で7月の月末休館日を設けず開館することとし、利用者への利便性を高めたい。

委員：金田一図書館だけが開館日数が非常に多い。利用者の立場と働いている職員の立場両面から公平でないといけなと感じている。利用者の立場からも金田一図書館だけ開館日が多いのは疑問に思われ、働く職員の立場から考えても、金田一図書館にも休館日を設けたほうが良いと思う。

委員：臨時職員の人事異動もあるのだから、今いる金田一図書館の職員にだけ負担を強いているのでは違うのではないかと。

事務局：毎年年末ごろに臨時職員一人ひとりに異動の希望などをとったうえで、翌年度の配置を決めており、今年度も数人の異動があった。

委員：金田一図書館は定休日がないため、シフトを組むのが大変なのではないかと。

司書：定休日は決まっていなくても、休みの数は他の館の職員と同じ日数を確保されている。ただし、定休日がある館に比べるとシフトを組むのは難しい部分もある。臨時職員やアルバイトだけで組めないときには、中央館の職員に手伝いで入ってもらっていることもある。

委員：金田一図書館から離れているところに住んでいる人間からすると、金田一図書館だけ開館日が多いのは不公平だという声をよく聞く。

委員：そもそも何故金田一図書館だけ定休日がないのか。経緯を知りたい。

委員：大泉村のときに、金田一図書館を作るにあたり、設立準備会のなかで全日開館で行こうという方針が決められ、合併後もそのまま引き継がれているものと聞いている。

事務局：まさしく金田一図書館が開館するときに、初代館長であった小林是綱さんを中心とした設立準備会の中で、全日開館という方向や震災まで行っていた夜7時以降の無人開館など当時としては画期的な方針が決められたものである。

委員：今までのどうだったかではなく、今後の北杜市図書館において何が一番大切なのかという視点で、開館日開館時間を見直す必要がある。

委員：不公平という声も上がっているが、一方で北杜市全体で広く考えれば、中央館である金田一図書館が毎日開いているというのも便利と考えられる。

委員：金田一図書館が休みでも、市内の全ての図書館が休館になるわけではなく、どこかは開いているのだから、金田一図書館の全日開館にこだわらなくてもいいのではないかと。2年続けて図書館が事業仕分けに当たっている。中途半端に変更するよりも、思いきって金田一図書館の定休日を設けて、数年は変更しないような開館日・開館時間とするほうがよい。ちよくちよく変更するようなことになると浸透するまでに時間がかかり、利用者にとつ

ては分かりにくいものになってしまう。

委員：金田一図書館の定休日なしにこだわってきた理由はあるのか。

事務局：市内の図書館のなかで最も蔵書数も多く、レファレンスにも対応できるような資料もそろえている。北杜市図書館の中央館である金田一図書館を毎日開けていることが、市民や利用者へのサービスになっていると考えている。

委員：北杜市図書館にとって8図書館を存続させていくことが一番大切ではないか。そのためにも、金田一図書館の休館日を設けて、予算削減を図っていくべきではないか。

委員：金田一図書館に定休日を設けると、金田一図書館の業務は大変になるか？

司書：月曜日は他の4館が休みであり、プールでも水中ウォーキングをやっているため、利用者は多い。メール便についても土日が動かないなかで、月曜日に開いている3館についてはメール便をまわせていたものが、動かなくなるので火曜日のメール便が大変にはなる。休館日を設けるなら他の曜日のほうがいいのではないか。

事務局：休館日については、前回、前々回の会議で結論がついていると考えているが。

委員：確たる決定ではなかったが、その方向性であったはずである。

委員：最初は全館が定休日を設けるという話しであったが、一律にしなくてもよく中央図書館としての特色を出すことも必要ではないかということで、金田一を休館日なしという方向になっていたかと思う。

委員：確かにそうであるが、昨年、一昨年と事業仕分けに図書館の事業が対象となった。

司書：職員の中でも、金田一図書館は定休日がないので金田一図書館に異動はしづらい、異動になるなら仕事を続けられないという声もある。金田一図書館では中央館ということで、他館ではやっていない仕事も引き受けてやってもらっている状況もある。同じ図書館の中なので、どこにいても同じように働きたいと思える環境は作ってもらいたい。

事務局：金田一図書館で休館日を設けるとすると、何曜日がよいか。

図書館のなかの会議も各館の職員が出ている曜日で行っており、土日月以外の曜日で金田一図書館が休みになると、業務に支障は出てくる。

議長：週1の休みを取ったほうがよいかどうか。

委員：思い切って週1の休みをとったほうがよいと思う。

委員：これだけの規模の市の中で8図書館があるということ自体が大きな特色であり、金田一図書館だけ全日開館という特色にこだわるよりも、職員が同じ勤務体系で働いていける環境づくりも大事だと思うので、定休日を設けたほうがよいと思う。

議長：みなさんの意見もまとまったようなので、開館日については金田一図書館に週1の定休日を設けることとする。

開館時間については、金田一図書館とながさか図書館が10時～19時まで、それ以外の各館は10時～18時まで。金田一図書館とながさか図書館については夏時間を採用し、海の日から8月31日までの期間について9時～19時の開館とする。

司書：イベントのことなどを考えると月曜日の休館がよいと思う。ただし、金田一図書館には児童館が入っているので図書館だけが休館できるかがという問題がある。

議長：それでは子育て支援課と協議をしてもらい、児童館だけ開けておくことができるようであれば、金田一図書館は月曜日を休館日にしていくということで決定する。

3) 北杜市図書館ボランティア代表者会の報告について

*事務局より説明

- ・5月30日に北杜市図書館ボランティアの17の団体の代表者に集まっていただき、北杜市図書館ボランティアの情報交換などを目的として、ボランティア連絡協議会を設立したい旨を説明した。
- ・ボランティア間の情報交換の場は必要という声もあったが、性急に組織化すると各団体の重荷になるのではとの声もあった。
- ・そこで、読み聞かせのグループ、朗読のグループ、その他のグループ向けの情報交換会を図書館が呼びかけ開催するかたちで情報交換の場を作っていくことから始めていくこととした。
- ・この情報交換会については、ボランティアだけでなく一般の方も参加できるような集いとし、ボランティアに興味のある方がボランティアを始めるきっかけとする。
- ・秋ぐらいに情報交換会を開催予定。こうした会を重ねていくなかで、組織化していきたいという声が上がってくれば、連絡協議会のようなかたちを検討していききたい。

委員：新たにボランティアに入ってきてもらう流れを作らないと先細りしてし

まうことを心配している。

事務局：これまでのイベントを行うボランティアだけでなく図書館の業務をお手伝いしてもらおうボランティアの募集もしていく予定であり、情報交換会なども通し、新たなボランティアの募集を進めていきたい。

委員：何団体に通知をしたのか。

事務局：21 団体すべてに通知を発送した。ただし今回個人登録のボランティアの方には通知しなかった。当日参加ができなかった団体については、報告書を送ってある。

4) 利用者懇談会について

＊事務局より説明

- ・今年度も利用者懇談会を開催し、今後の図書館運営の参考としていきたいと考えている。
- ・利用者懇談会については、エリアごとで開催して欲しいとか各館ごとで行ってもらいたいという意見もあるが、昨年度 3 月 1 日に小布施町立図書館の前館長花井裕一郎さんの講演会と合わせて開催したところ多くの方に参加していただき、多くの貴重な意見をいただくことができたので、今年度も講演会とセットで開催したい。
- ・県立図書館の読書推進事業の一環として阿刀田館長の出張トークを県内各地で開催しており、北杜市では 9 月 21 日に出張トークを開催することとなっている。このトークイベントと合同開催というかたちで利用者懇談会を開催したい。
- ・1 部として阿刀田館長のトークイベント、2 部が利用者懇談会を予定。トークイベントについては、前半が阿刀田館長の講演で後半はパネルディスカッションなどを予定している。2 部の利用者懇談会については特にテーマを設けず、自由に意見を出してもらおう形を予定している。

委員：阿刀田館長の講演内容は？

事務局：ご自身の読書体験を含めた読書推進についての講演になるかと思う。

委員：パネルディスカッションは聞いているほうはあまり面白くない。テーマを絞っていかないと話しが散漫になっていく気がする。皆さんに喜んでもらえる楽しい内容にしてもらいたい。

事務局：内容についてはしっかりと検討していく。

5) 各図書館からの報告について

●全体

- ・5月24日、6月28日に金田一名誉館長による土曜ことば楽を開催。
- ・6月24日には映画『じんじん』上映に向けて試写会を開催した。
- ・今年は8月31日に「ことばの学校」を開催。9月21日には「阿刀田館長による出張トークと利用者懇談会」を開催する。

●明野図書館

- ・5月には明野図書館ファンクラブ主催の講演会やわくわくどきどきおはなし広場実行委員会主催の音楽とおはなし会などを開催。6月には環境課の講師派遣を利用し、グリーンカーテン教室を開催した。地域委員会などの協力を得て、多くのイベントを開催予定。
- ・7月には明野図書館ファンクラブ主催の「ハートフルストーリーと料理」や「わくわくどきどきおはなし広場」では人形劇などのイベントを予定。8月には子供向けの環境教室ややまなし子ども文化研究会による人形劇を行う。

●すたま森の図書館

- ・6月から7月にかけて、「ハガキづくり」や「美文字教室」、「現代短歌講座」を開催した。
- ・夏は「読書感想文応援塾」や「美文字教室」、「農の学校」の開催を予定。
- ・「農の学校」は今年から開催の講座。有機農家の畑山さんに講師となっただき冬野菜の作り方を学ぶ。

●たかね図書館

- ・7月3日にはエベレスト登頂している竹内さんを講師に迎え、「八ヶ岳講座」を行った。
- ・毎年夏にやっている戦争の傷跡展では甲府に在住している被爆者の方にパネルをお借りして展示するとともに、8月19日には講演をしていただく。
- ・8月19日の夜に開催する「こわいおはなし会」では、工作や縁日なども行う。

●ながさか図書館

- ・「読書会」を毎月開催。
- ・「大人のための朗読会」を5月に開催。8月にも開催予定。
- ・6月には大人のための教養講座として「スクラップブック講座を」開催した。
- ・7月には地区民会議と共催で「子ども工作教室」を行う。

●金田一春彦記念図書館

- ・5月東部教育センターと共催で「湧水講座」を講座編と見学編の2回開催した。
- ・5月20日に「読書会」を開催。今年度からは一般募集をして行っている。
- ・7月に「いずみの杜まつり」、「終戦特集」、8月に「作文教室」を開催予定。

●小淵沢図書館

- ・5月に「ブックカバー作り」を行った。

- ・教育センターの耐震改修工事のため6月1日から休館中。本の箱詰めや倉庫の片付けなどの作業を行っている。
 - ・支所での貸出・返却業務を始めている。他の用事で支所に来た方から予約やレファレンスを受けるなど図書館のPRになっている。
 - ・8月1日の「お化け話」は、杉山亮さんのお化け話と酔亭化枝さんの落語を帝京短大の体育館をお借りして行う。
- ライブラリーはくしゅう
- ・7月6日に「甲州弁を楽しもう」を行った。八ヶ岳甲州弁大好きの会、あねやんの会に来ていただき、地元の民話や歌などを披露してもらった。
 - ・7月から8月にかけて4回連続講座で「手作り絵本教室」、7月27日には富士山科学研究所の研究員を招いて「おいしい水のひみつ」を開催予定。
- むかわ図書館
- ・6月にはむかわ図書館活性化会議との共催で「エレクトーン meets クラシック」を開催した。
 - ・7月には「桜に関する講演会」、8月には「夏休み工作教室」をむかわ図書館活性化会議と共催で開催予定。

委員：明野で行っている「わくわくどきどきおはなし広場」は市から補助金をもらっているということだが、具体的にはどこからもらっているのか。

事務局：明野の地域委員会の予算の青少年育成という項目の中で予算をつけてもらっている。

委員：図書館のイベントがダブってしまっているのが残念なので、なるべくかぶらないようにしてもらいたい。

事務局：イベントがかぶらないように調整をしていく。

委員：大人のための朗読会「やまびこ」のPRをもっと図書館として積極的に行ってもらいたい。

事務局：しっかりとPRしていく。

(6) その他

事務局：金田一真澄先生の「土曜ことば楽」について、前回の会議のときに参加できない方にも還元できるような方法を検討してもらいたいとの意見をもらっていたが、講座を録画しDVDにして利用者に貸し出しが出来るように準備をしているので、是非多くの方に利用してもらいたい。

以上